令和７年度　「１校１取組」運動を位置付けた体力向上プラン【計画書】

学校名〔　広川町立下広川小学校　〕

視点２　目標と成果指標

《目標》目的意識をもち、協働的に運動に取り組み、やり抜く子供の育成

令和８年度の体力・運動能力調査の総合評価「D」「E」を合わせた割合を減らす：１０%未満		
	「運動に対する意識」に関する成果指標	「運動習慣」に関する成果指標
評価方法	学期末の児童アンケート	学期末の児童アンケート
成果指標	運動が「好き」「やや好き」を合わせた割合 **１００%を目指す。**	「週３日以上運動をする」児童の割合 **９５%以上を目指す。**
評価	１回目・新体力テストの結果　（　　%） ２回目・下広オリンピックの結果（　　%）	１回目・新体力テストの結果　（　　%） ２回目・下広オリンピックの結果　（　　%）

視点４　「１校１取組」運動名

運動名　：自分で選んで！みんなで一緒に！「すなどけい」運動

～「す」ストレッチ「な」縄跳び（長・短）「ど」ドッジボール投げ「けい」けんすい～

視点３　今年度の重点的取組と指標

体育・保健体育科授業における取組	取組指標	体育・保健体育科授業以外の取組	取組指標
・体育科の授業づくりに関する校内研修会の実施。 ・課題を振り返り、自己で計画した運動や遊びに取り組み、仲間と協同的に解決する学びを生み出す授業展開。 ・準備運動にて、腕力・下半身の柔軟性を高める運動を取り入れる。（OJT 研修の実施）	年間**２回** （４月・夏休み） **全学年実施** **全単元実施**	・新体力テストと下広オリンピックに向けて、全校で「運動や遊びをする時間」を設定し、腕力や下半身の柔軟を高める運動や遊びを行う。	実施学級 **１００%**
		・体力アップシートを活用し、個人と学級合計の目標達成に向け取り組む。	活用率 **１００%**
		・スポコン広場に年間を通じて取り組み、随時更新し、掲示する。	登録学級 **１００%**

視点１　子供の実態分析

体力・運動能力に関する課題	
・体力・運動能力調査の体力合計点総合評価（全校児童の割合）の「D」「E」合計が２０%いる。 ・「腕力」「下半身の柔軟性」に関連する運動種目を、全国平均水準を上回るようにする。	
「運動に対する意識」に関する課題	**「運動習慣」に関する課題**
運動が「好き」９５%、「やや好き」３%、「やや嫌い」２%、「嫌い」０%であり、２%の児童が運動に対しての苦手意識をもっている。 →運動が「やや嫌い」を０に減らす。	「週３日以上運動をする」８８．７%であり、約１１%の児童が運動に親しむ習慣を身につけることができていない。 ※「週１～２日」２%、「月に１～３日」７．５%、「しない」１．８% →「週３日以上運動をする」を増やす。

《要因》（体育・保健体育科の授業や授業以外の取組から）

「成果１」昨年度の「うまなって運動」の成果から児童が遊びを通して、体を動かす機会が増えた。

「成果２」児童が主体的に活動し、つながり合いながら運動のよさを味わう授業作りを行ったことで、少しずつ協働性や体力の向上が見られてきている。

「課題１」体力を向上させる専門的な運動の指導方法や運動特性の理解。（OJT・TT が必要）

「課題２」体育科での学習における個人のめあて、課題解決、振り返りができる授業構造。（教師）

「課題３」様々な遊びや運動習慣の二極化（児童の経験や意識）